

いざ、日大！ -To the Next Stages-

各学部・学科の推薦入試が終わり、日本大学合格者(一般入試を除く)の数が出揃いました。

11月26日(土)、日本大学本部より追加募集実施学部学科の案内が来ましたが、今年度は希望者がいませんでした(昨年度は4名がセレクション申告→2名通過)。よって現在までの日本大学進学予定者は、347名(74.1%; 国公立併願方式6名を除く)となりました。なお、国公立併願方式での合格者のうち2名は、すでに公募推薦で電気通信大学に合格しています。

	基学	付特	国併	他※	合計
法学部(一部・二部)	23	8	1	1	33
文理学部	38	6	—	7	51
経済学部	32	23	—	0	55
商学部	24	22	—	0	46
芸術学部	3	5	—	3	11
国際関係学部	6	2	0	0	8
危機管理学部	2	0	—	0	2
スポーツ科学部	0	5	—	2	7
理工学部	41	27	4	1	73
生産工学部	12	13	0	0	25
工学部	0	0	0	0	0
医学部	1	—	—	0	1
歯学部	2	—	0	0	2
松戸歯学部	1	1	0	0	2
生物資源科学部	17	10	1	0	28
薬学部	7	0	0	1	8
短期大学部(三島)	1	0	0	0	1
短期大学部(船橋)	0	0	0	0	0
合計	210	122	6	15	353

他※ スポーツ推薦・A O入試等



【今井真】

生産工学部 高大連携教育実施中！

12月1日(木)から20日(火)にかけて、本校コンピュータ教室にて生産工学部進学予定者25名を対象に、吉田巨克准教授の御指導のもと、高大連携教育を実施しています。

これは、生産工学部全9学科の必修科目である『情報リテラシー及び演習』を入学前に受講し、単位を履修できる制度です(もちろん成績次第ですが…)。付属全25校の中でも協定を結んでいる3校でしか受講することができません。また、大学の授業なので1コマ90分の授業を、合計30コマ受講します。



テスト・レポートもあり、PCの前で頭を捻りながらキーボードをたたく姿は大学生さながら。25名の大学生生活は既に始まっているようです。

回	授業内容
1	ガイダンス、学内システムと各種設定
2	学内システムのルール
3	情報処理とセキュリティ
4	調査と情報収集
5	文書のまとめ方
6	情報の集め方
7	データベースの基本
8	データベースの利用

回	授業内容
9	情報の加工と分析
10	情報の効果的な視覚化
11	レポートのまとめ方
12	化学・生物実験レポートの作り方
13	物理実験レポートの作り方
14	研究発表講演会講演概要の作り方
15	総合演習



【今井真】

日大合格者の声 ~先輩から学べ！

今回の企画では、既に日大の合格を決めた高3生に、合格体験を語ってもらいました。初めに4人のプロフィールをご紹介します。

◆ N君

文系進学クラスく地理選択>
陸上競技部所属 高入生
法学部公共政策学科合格(付属特別)

◆ T君

文系進学クラスく世界史選択>
バスケットボール部所属 内進生
文理学部英文学科合格(基礎学力)

◆ U君

理系進学クラスく物理選択>
美術部所属 内進生
理工学部航空宇宙工学科合格(基礎学力)

◆ K君

理系進学クラスく化学選択>
芸能部所属 高入生
薬学部薬学科合格(基礎学力)

亀谷:いつからその学部・学科に行く決めていましたか？

N君: 高3の夏前

T君: 中3の終わりから高1の初め頃

U君: 中1の終わりか中2の初め頃

K君: 高1の夏頃



亀谷:その学部・学科に決めたいきっかけは何ですか？

N君: 高1で学年10位くらいの成績だったので、付属特別選抜を考えていました。文系学部のオープンキャンパスにはほぼ全て行き、卒業生の就職先などから総合的に判断して決めました。

T君: 中3の学部見学で文理学部に行きました。そのときから先生になって、英語を教えたいと思って英文学科に決めました。

U君: 父がロケットエンジン等に関わる仕事をしているのと、姉もそれに関連することをやっていたため、自分も興味を持つようになり、志望しました。

K君: 高校に入る前から薬について興味がありました。薬学部に入ればそういう勉強ができるんじゃないかと思い、そこを目指すようになりました。

亀谷:勉強時間はどれくらいでしたか？

N君: 高1~2のときは、テスト期間以外は勉強しませんでした。授業を寝ることなくちゃんと聞いていればできました。高3では平日は4~5時間、夏休みは8時間、ずっと図書館にこもっていました。

T君: 高1~3の6月までは宿題のみでした。部活引退後は基礎学力に向けて1日2~3時間やっていました。

U君: 高3の夏までは、朝の電車の中のみです。問題と答えを手に持って、解き方のみを確認してとにかく量をこなしました。物理の課題は修業と思ってやっていました。

K君: 高1~2のときは、平日2~3時間でした。数学と化学くらいしかやっていませんでしたけどね。高3の休日は約5時間勉強していました。

亀谷:勉強のやる気はどうやって出していましたか？

N君: 勉強している自分ってかっこいいなと思いながらやりました。

T君: 自分の夢の実現のために頑張ろうと思っていました。

U君: 勉強してそうな人に電話をしてどれだけ勉強しているかを聞き、あえて自分を焦らせてモチベーションを上げていました。でも勉強をせず、さらに次の日もあえて勉強せず、さらに自分を焦らせ、その次の日に一気に勉強をしました。

K君: 好きなアーティストの音楽を聴くこと、ネットで見られる合格体験記みたいなものを見て、合格のイメージを膨らませていました。



亀谷:ゲーム等の誘惑に勝つためのけじめのつけ方を教えてください。

N君: 僕は家で勉強できないので、ケータイを家において、勉強道具だけ持って図書館に行きました。

T君: 自分も全く同じで、家では勉強ができないので図書館に行きました。

U君: ゲームの誘惑に負けた時は、モニターを壊したり、部品を壊しました。ゲーム機は価値のあるものなので、これ以上壊したくないと思い、勉強しました。勉強しなければならぬ環境を自分で作りました。

K君: 勉強をやるべき時間に、とりあえずペンを持って机に向かって問題を解き始めると、1時間くらいはできました。

今、勉強で悩んでいる皆さん。先輩方の意見を参考にして、自分に合う生活リズムや勉強法を早めに見つけて実践してほしいと思います。受験はあっという間に来てしまいますよ！



【亀谷・西川】


体験しよう！センター試験2017！

これまでも何度か、センター試験について紹介してきました。高3のみなさんは本番に向けての対策も最終段階に入ってきたところでしょう。

高1生・高2生のみなさんは、センター試験の重要性をもう十分に理解したでしょうか？大学進学をする多くの方が受験する試験であること、標準的な内容であること、自分の可能性を広げる試験であること、などは理解できたのではないかと思います。しかし、ただ頭でこういったことを理解しただけではまだ足りません。実際に体験してみる必要がありますね。そこで、1月21日(土)実施のセンター試験同日体験模試(東進)を紹介します。

学校では英語のリスニングを受験し、他の科目は2月6日(月)までの宿題とします。センター試験で今は何割とれるのか、ということがわかると今後の勉強の指針になるので、積極的に参加しましょう。

現在、高1・2の特進クラス全員が受験する予定です。その他にも興味のある人は進路担当の先生へ始業式までに申し出てくださいね。みんなで2017年センター試験を体験しよう！

 【鈴木鷹】

日大チャレンジ特別進学模試

2月7日(火)の日大チャレンジ特別進学模試は、高1・2が対象となります。高1は午前中3教科で午後は平常授業となります。高2は4教科で6時間目HR、特進の7時間目は実施する予定です。試験範囲は次のようになっていますので、冬休みに十分復習しておきましょう。


高1 試験範囲 (国語と英語は高1・高2 共通)

国語	I. 国語知識 II. 現代文(評論) III. 現代文(小説) IV. 古典(古文) V. 古典(漢文)
英語	I. 聴き取りテスト II. 語彙(連語) III. 文法・語法 IV. 対話文 V. 語整序 VI. 読解空所補充 VII. 長文読解 ※高2は VII. 長文読解英問英答
数学	1. 数と式の計算の小問(数学I) 2. 不等式の小問(数学I) 3. 2次関数(数学I) 4. 場合の数(数学A) 以下2問を選択 5. 集合の要素の個数(数学A) 6. 2次関数(数学I) 7. 三角比(数学A) 8. 確率(数学A)



高2 試験範囲 (国語と英語は高1・高2 共通)

数学	1. 複素数と方程式(数学II) 2. 2次関数の理論(数学II) 3. 図形と方程式(数学II) 4. 三角関数(数学II) 5. 指数・対数関数(数学II) 6. 微分法(数学II) 7. ベクトル(数学B) 8. 数列(数学B)
物理	I. 物体の運動 II. 物体にはたらく力 III. 剛体 IV. 音 V. 熱 VI. 電気
化学	I. 物質の構成 II. 物質と化学反応式 III. 固体・気体・溶液 IV. 化学反応と熱 V. 酸と塩基の反応 VI. 酸化還元反応
生物	I. 細胞膜 II. タンパク質 III. 酵素とATP IV. 遺伝子 V. 体液 VI. 植物の遷移 VII. 生態系での物質の循環
日本史	I. 平安時代(年表形式) II. 原始～鎌倉時代(空所補充形式) III. 原始～鎌倉時代(史料問題) IV. 原始～鎌倉時代(写真問題)
世界史	I. 古代オリエント II. 古代ギリシア・ローマ III. 中国史(元の時代まで) IV. イスラム世界 V. 古代のインド・北アジア・東南アジア VI. 中世ヨーロッパ
倫・政	I. 青年期の課題と自己形成 II. ギリシャ思想・中国思想 III. 世界の宗教 IV. 民主政治の基本原則や日本国憲法 V. 日本の政治機構 VI. 現代の国際政治
地理	I. 地形(地形図含む) II. 気候と生活 III. 日本の自然と生活 IV. 資源と工業 V. 世界の農業 VI. 都市・集落

 【伊藤秀】

高1・2小論文テストに向けて

来学期、高1生・高2生対象に学研の小論文テストが実施されます(スケジュールは後のお知らせ参照)。高1は「基礎小論文」、高2は「志望理由書」を書きます。近年、日大への付属推薦、他大への推薦やAO入試など、多くの入試で小論文・志望理由書を課す大学が増えていきます。

また、志望理由書は面接の準備としての側面があります。そうした意味で、本校の生徒のほとんどが、何らかの形で小論文を書くこととなります。高3になれば勉学に注力をしなくてはならないことを考えると、高1・2の間に小論文の書き方を身につけておくべきでしょう。

以下に、豊山生が添削者からよく指摘を受けるポイントを、先輩方の答案から紹介します。

- 書き出しは一文字下げる。(要約はこの限りではない)
- 文体を統一する。「です・ます」体と「だ・である」体を混在させない
- 文末表現を工夫する。「～思った」「～考える」ばかりではなく、断定的表現などを織り交ぜる
- 一文を長く過ぎないようにする。(1文は60字が目安。それ以上になる場合は一度句点「。」で切り、接続詞でつなげる)
- 文頭の「なので」は口語表現なので、使わない。(順接の接続詞「だから」、「したがって」などに置き換える)
- 行頭に句読点を置かない。(句読点が行末のマスからはみ出す場合は行末の文字と同じマスか、欄外に書く)
- 指定字数を満たす。(よく最低8割と言われるが、学研の指導では9割が目安)
- 楷書で丁寧に書く。
- 「社会貢献」や「魅力」などの内容を具体的に書く。



高1・高2ともに事前学習用のテキストが配布されます。きちんと目を通し、準備をして試験に臨んでください。





【前田】


1月の進路行事

- 14日(土) 大学入試センター試験①
- 15日(日) 大学入試センター試験②
- 16日(月) センター試験自己採点(高3)
- 18日(水) 小論文テスト①(高1・2)
- 28日(土) 河合塾全統記述模試(高1・2特進)
- 2月7日(火) 日大チャレンジ模試(高1・2)



 1月16日(月)のセンター試験自己採点は、該当する生徒のみが10時に登校となります。今年度も駿台ベネッセ・河合塾・東進のセンターリサーチが利用できます。結果は19日(木)の夕方に届く予定です。今年度は最大99名が受験する予定です。

 1月18日(水)の小論文テスト①(3～4限→2～3限に変更)は、高1・2が対象となります。高1は基礎小論文(50分)+HR、高2は2限に講演会(アリーナ)を実施し、3限は各教室で志望理由書を書きます。いずれも、リライト(同じテーマでもう一度書く)を2月22日(水)3～4限に実施します。ぶっつけ本番ではなく、冬休みを利用してしっかりと準備しておこう。

 1月28日(土)の河合塾全統記述模試は、高1・2の特進クラスが対象で、試験範囲等は担任から発表されます。高1は「国公立大・難関私立大入試/記述式問題早期対策」、高2は「国公立大二次・難関私立大入試/記述・論述式問題早期対策」となります。

【伊藤秀】

次回2月号は、1月30日(月)発行予定です

